

業務概要

令和2年度版
(令和元年度実績)



オレンジリボンには
子ども虐待を防止する
というメッセージが
込められています。

滋賀県子ども・子育て応援センター
(愛称:こころんだいやる)

目 次

◆滋賀県子ども・子育て応援センターの概要	1
◆組織体制	3
◆相談の状況	
1. 年度別対比	4
2. 月別相談状況	5
3. 曜日別相談状況	6
4. 相談開始時刻別件数	7
5. 相談時間の内訳	8
6. 相談者の内訳	
(1)相談者（全体）の内訳	9
(2)相談者（本人）の内訳	10
(3)相談者（本人以外）の内訳	11
7. 相談対象者の内訳	14
8. 相談内容	15
9. 相談対象者別（年代別）相談内容	19
10. 相談者別の相談内容	
(1)相談者別の相談内容	21
(2)本人相談の相談内容	23
11. 虐待・いじめ相談	25
12. 他の機関への紹介および連絡	27
13. 相談まとめ	28

参考資料

○他機関との連携	
・相談員等が紹介した機関	30
・相談員等が直接連絡した機関	33
○相談件数および推移	34

滋賀県子ども・子育て応援センター

概要

平成18年4月1日に、子どもが人権を尊重され、夢を持って健やかに育ち、子どもを安心して育てることのできる環境づくりを進めるため、滋賀県子ども条例が制定されました。

そして、同年6月、同条例第14条に基づき、育ち・育てる環境づくりのための活動等を推進するための拠点として、「滋賀県子ども・子育て応援センター」（以下「センター」という。）を設置し、児童虐待をはじめ、子育て、いじめ、不登校など悩みを持っている子ども・青少年本人とその保護者（養育者も含む。）のための電話相談（愛称・こころんだいやる）を開設しました。祝日を含め、毎日午前9時から午後9時まで（12月29日～1月3日除く）電話を受け付けています。

また、「淡海子ども・若者プラン」と「滋賀県児童虐待防止計画（平成27年3月改訂）」において、子どもの「助けてサイン」を受け止めるとともに保護者からの悩み相談の場として、センターを位置づけています。

子どもを支援していく上で、子どもの声や子育てで悩む保護者の声を聴くことは、大変重要です。

相談件数はここ数年は4000件弱から4000件超の間を推移しており、令和元年度は前年度より465件減少しました。これは、相談内容から情緒的に不安定な頻回者さんがある程度落ち着きを見せて相談回数が減少していることも背景として推測されます。また、虐待やいじめの相談も減少していますが、これは、当センターよりむしろ専門的な支援機関への相談率が高まっているのではないかと希望的な観測をしています。最近の特徴として、子ども本人からの相談では、進学先での学習のつまづき、男女交際、学校や交友関係での悩みが増えており、いじめなどの深刻な内容の相談では、多くの場合誰にも相談できず独りで抱え込んでいる背景がみられます。また、本来「守られる場」であるはずの家庭や家族との関係で悩み、センターへの相談に至ったケースも多くなっています。これらは現代社会の歪みが現れたもので、社会を映す鏡といわれる子どもたちを取り巻く環境の複雑さと深刻さが浮き彫りにされているように思われます。

保護者からの相談では、乳幼児期の子育てに関して「子育てが上手くいかず、自分を責めてしまう」というような不安を周囲に相談できずに独りで抱え込んでいるケースが多いようです。また、「イライラして子どもに手が出てしまう」といった虐待相談や、「我が子がいじめられて登校できない。学校に相談しても解決しない」といったいじめ被害相談等の深刻な相談も多く寄せられています。また、保護者自身の心身の健康状態から子どもの健全な育ちが懸念されるケースも多いようです。

いずれの相談も傾聴を基本にしながら、相談者自身が解決策を見いだせることに相談の視点を置いています。また、深刻なケースにおいては、相談内容に応じた適切な支援機関を紹介することや面接相談などにも努めています。

また、電話相談の受け手を増やしてより活動が充実するように、民間団体と共同で相談を受けの方を対象とした養成講座も行っています。

◇設置場所

滋賀県庁 東館 3 階（大津市京町 4 丁目 1 番 1 号）

◇電話番号

電話相談（こころんだいやる） 0 7 7 - 5 2 4 - 2 0 3 0
全国共通（24 時間子供 SOS ダイアル） 0 1 2 0 - 0 - 7 8 3 1 0
面接相談（予約制） 0 7 7 - 5 2 8 - 3 5 6 3
※ファックスの相談 (FAX 0 7 7 - 5 2 8 - 4 8 5 5)

◇開所日

電話相談 土曜日、日曜日、祝日を含め毎日（12/29～1/3 を除く）午前 9 時～午後 9 時
面接相談 土曜日、日曜日、祝日を除く毎日（12/29～1/3 を除く）午前 9 時～午後 6 時

◇沿革

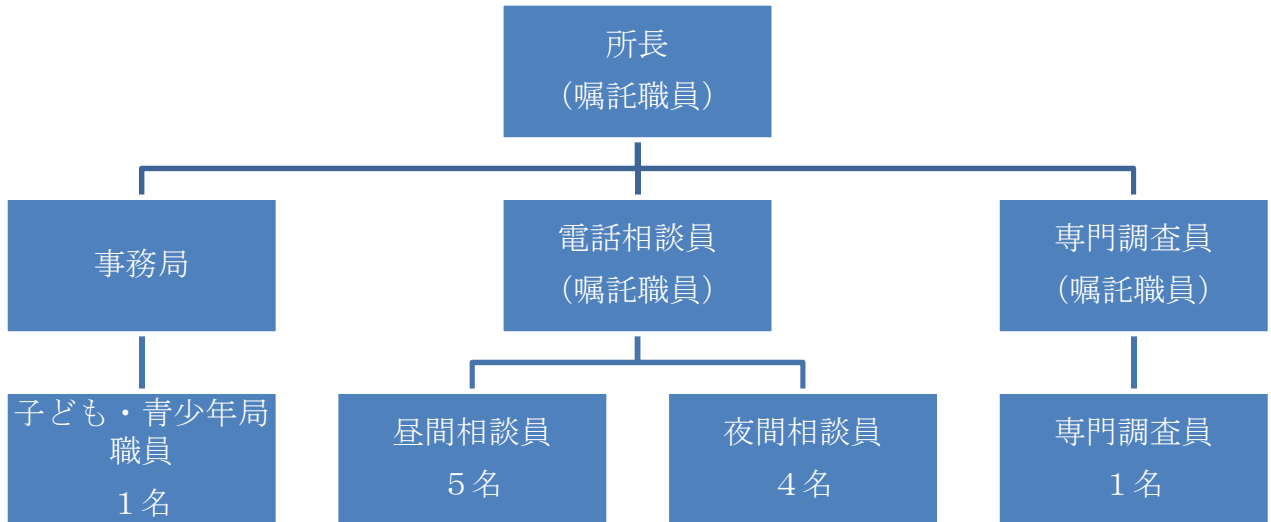
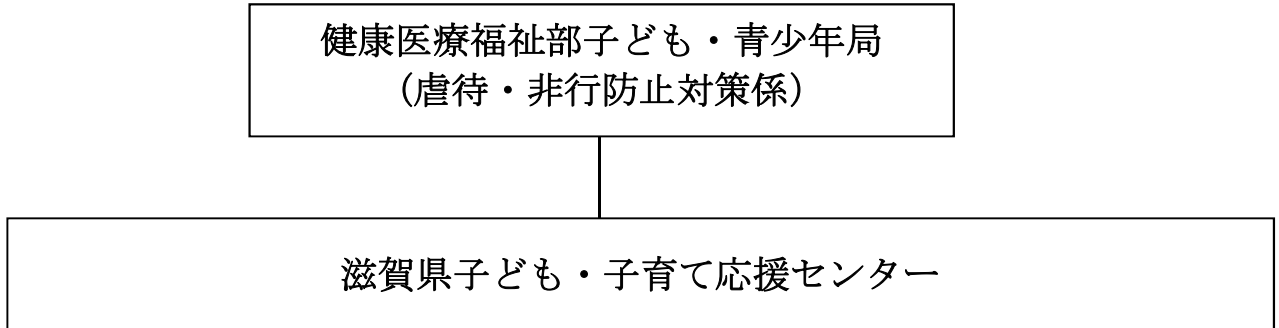
平成 13 年度に子どもと子育てに関する一次的な相談機能をもっている以下 6 つの既設の電話相談窓口を統合再編し、「児童の権利に関する条約」が国連で採択された日にちなんで、11 月 20 日に「青少年・子ども電話総合相談室」を開設し、公募により愛称を「こころんだいやる」としました。その後、平成 18 年 6 月に、「青少年・子ども電話総合相談室」の業務を拡大・改編し、「子ども・子育て応援センター」として現在に至っています。

統合機関（平成 13 年度に統合した機関）

名称	所管（当時）	
子どもと家庭の 110 番	健康福祉部	児童家庭課
いじめホットライン滋賀	教育委員会	学校教育課
進路変更相談電話	教育委員会	学校教育課
あゆっ子電話相談	教育委員会	生涯学習課
少年アドバイスルーム	教育委員会	生涯学習課青少年室
ヤングテレホン滋賀	警察本部	少年課

組織体制

(平成 31 年 4 月 1 日現在)



相談の状況

1. 年度別対比

令和元年度に、電話相談「こころんだいやる」へ寄せられた相談件数は4,030件で、前年度4,495件に対し10.3%減となりました。（このほかに無言電話が1,022件ありました。）その内、面接相談、その他（FAXなど）の相談件数は4件でした。無言電話除く、一日あたりの平均相談件数は、11.2件（前年度12.5件）と減少しております。

【相談状況の年度別推移】

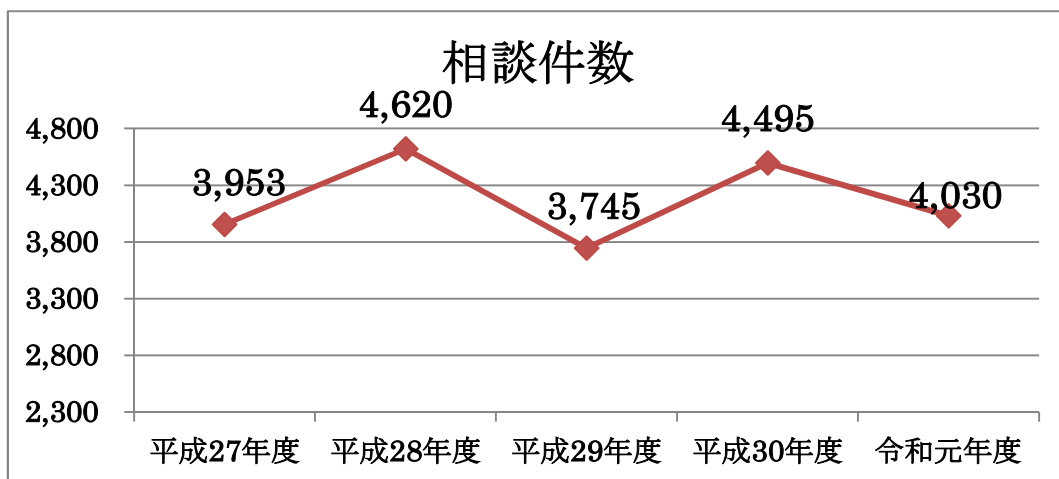
(件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電話相談	3,952	4,615	3,740	4,490	4,026
面接相談	0	4	5	5	4
その他（FAX等）	1	1	0	0	0
小計	3,953	4,620	3,745	4,495	4,030
無言	781	803	547	661	1,022
合計	4,734	5,423	4,292	5,156	5,052

【一日あたり平均相談件数】

(件)

平均相談件数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
無言電話を除く	10.8	12.7	10.3	12.5	11.2
無言電話を含む	13	15.1	11.9	14.4	14.0



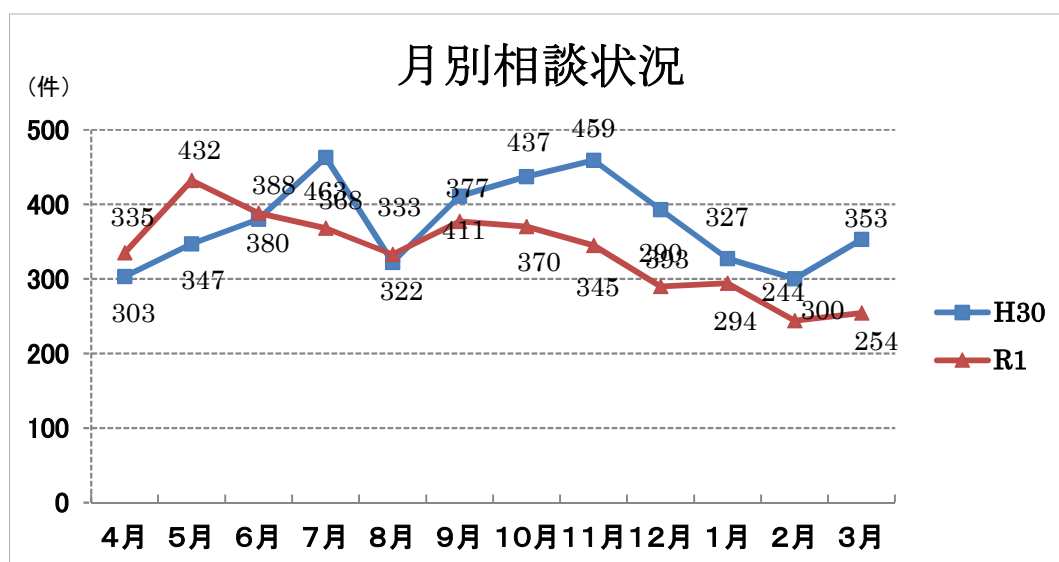
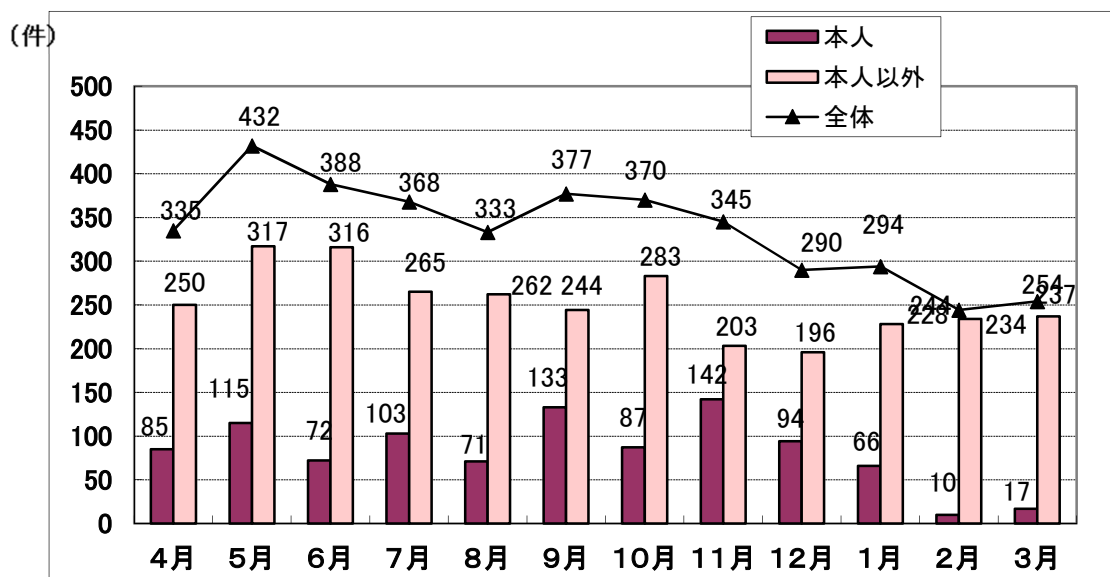
2. 月別相談状況

相談状況を月別にみると、5月が432件と最も多く、次いで6月の388件となっています。これは、新年度を迎え新しい生活に対する様々な不安や悩みが生じてくることが多いためと考えられます。逆に少ないのは、2月（244件）、3月（254件）の順で、年度途中に問題解決がみられたり、年度末前の慌ただしさにより、保護者が架電しにくい状況もあったためではないかと考えられます。

【月別相談件数】

(件)

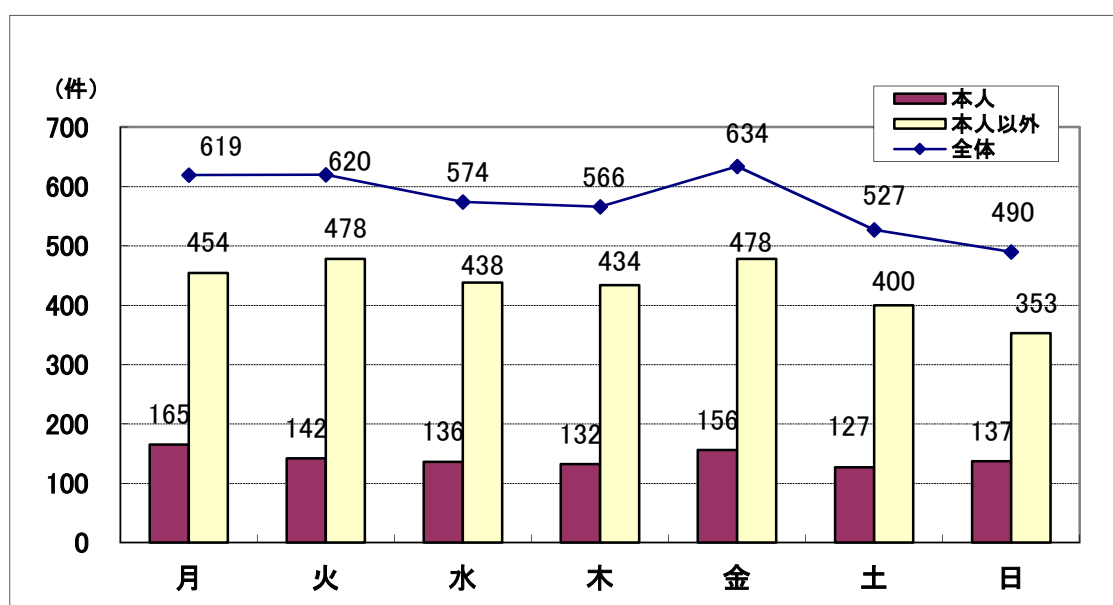
年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30	303	347	380	463	322	411	437	459	393	327	300	353	4,495
R1	335	432	388	368	333	377	370	345	290	294	244	254	4,030
本人	85	115	72	103	71	133	87	142	94	66	10	17	995
本人以外	250	317	316	265	262	244	283	203	196	228	234	237	3,035



3. 曜日別相談状況

相談状況を曜日別に見ると、前年度同様土曜日、日曜日が少ない状況にあります。相談者別にみると、特に「本人以外」が土曜、日曜は平日に比べて少なく、月別相談状況と同じく子どもが家にいると保護者等が電話しづらい状況にあるのではないかと考えられます。

年度 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
H30 全体	697	598	696	677	701	551	575	4,495
R1 全体	619	620	574	566	634	527	490	4,030
本人	165	142	136	132	156	127	137	995
本人以外	454	478	438	434	478	400	353	3,035



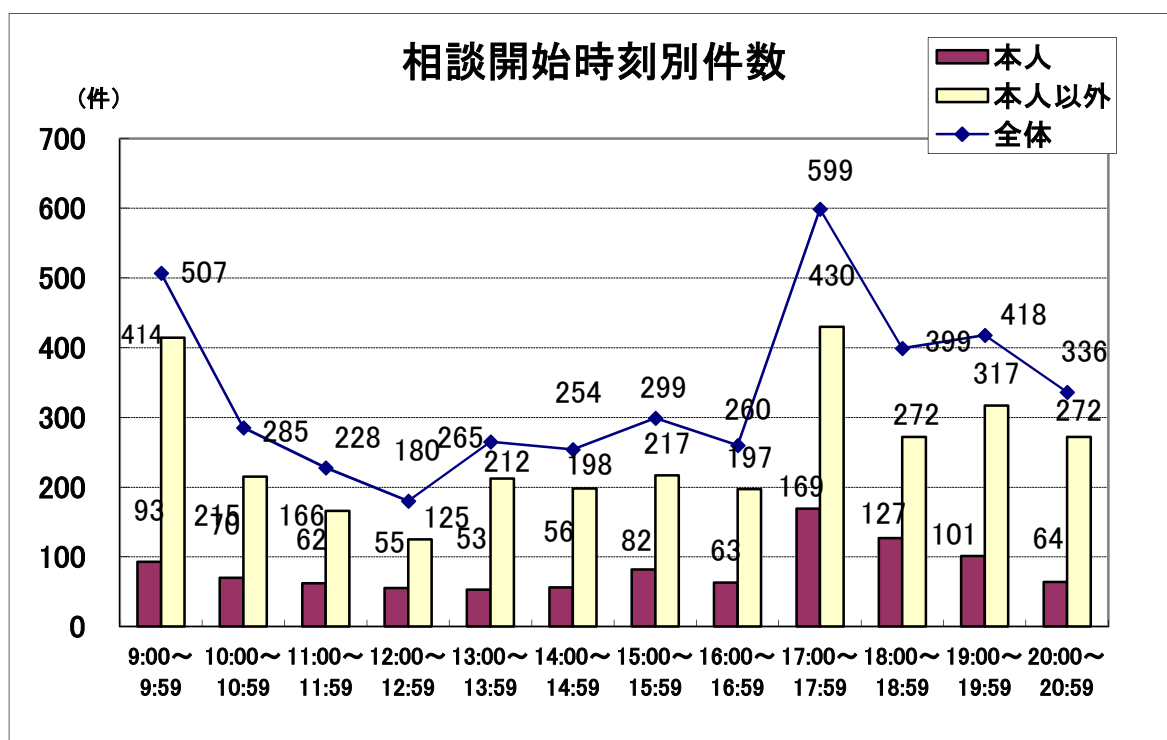
4. 相談開始時刻別件数

午前9時から午後9時までの1時間単位で相談開始時刻別の相談件数を見ると、「午後5時から午後6時まで」、「午前9時から午前10時まで」、の順に多く、それぞれ599件、507件となっています。

相談者別に見ると、「本人」からの電話は、午後5時から午後6時までが多くなっています。子ども本人が不安な思いを翌日に持ち越すことがつらく、下校後にその思いを解消するためと思われます。また、「本人以外」からの電話は、「午後5時から午後6時まで」が最も多く、次いで「午前9時から午前10時まで」が多くなっています。これは、家族が留守になったり家事が落ち着くなどにより、母親などが電話しやすい時間帯であることと、夕方に子どもが帰宅し、そこで生じる様々な悩みや不安を解決したいとの思いが生じる時間帯であろうことがうかがえます。

【相談開始時刻別件数】（無言電話除く） (件)

年度\ 時間	9:00 ～ 9:59	10:00 ～ 10:59	11:00 ～ 11:59	12:00 ～ 12:59	13:00 ～ 13:59	14:00 ～ 14:59	15:00 ～ 15:59	16:00 ～ 16:59	17:00 ～ 17:59	18:00 ～ 18:59	19:00 ～ 19:59	20:00 ～ 20:59	計
H30	495	336	289	250	333	339	343	345	460	384	491	430	4,495
R1	507	285	228	180	265	254	299	260	599	399	418	336	4,030
本人	93	70	62	55	53	56	82	63	169	127	101	64	995
本人 以外	414	215	166	125	212	198	217	197	430	272	317	272	3,035



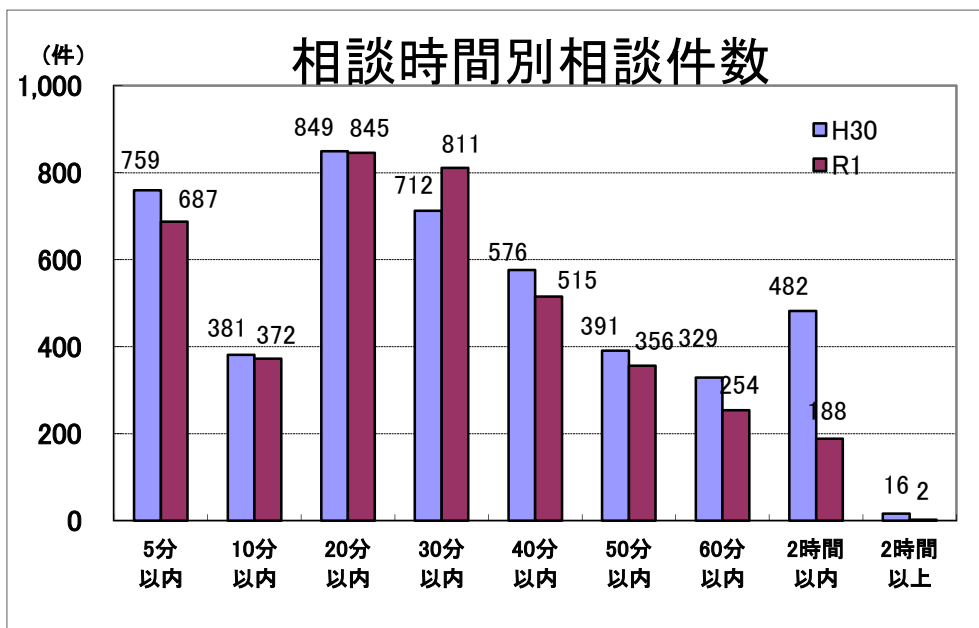
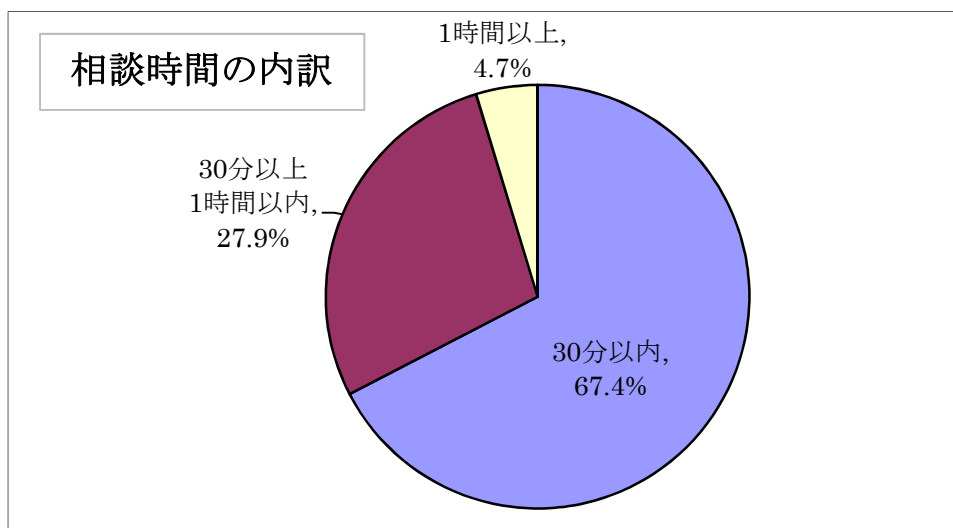
5. 相談時間の内訳

一件の相談に要する所要時間を見ると、「30分以内」が67.4%を占め、このうち全体の20.4%にあたる845件が「20分以内」で終わっています。(問い合わせやいたずら電話も含まれるため。)

また、「30分以上1時間以内」が1,125件、(27.9%)、男女交際の悩みや精神疾患を患う親の子育て、関係機関との関わりで悩む人からの相談で1時間を超えるものは、190件(4.7%)でした。

【相談時間の内訳】

	30分以内	30分以上 1時間以内	1時間以上	合計
H30	2,701	1,296	498	4,495
R1	2,715	1,125	190	4,030



6. 相談者の内訳

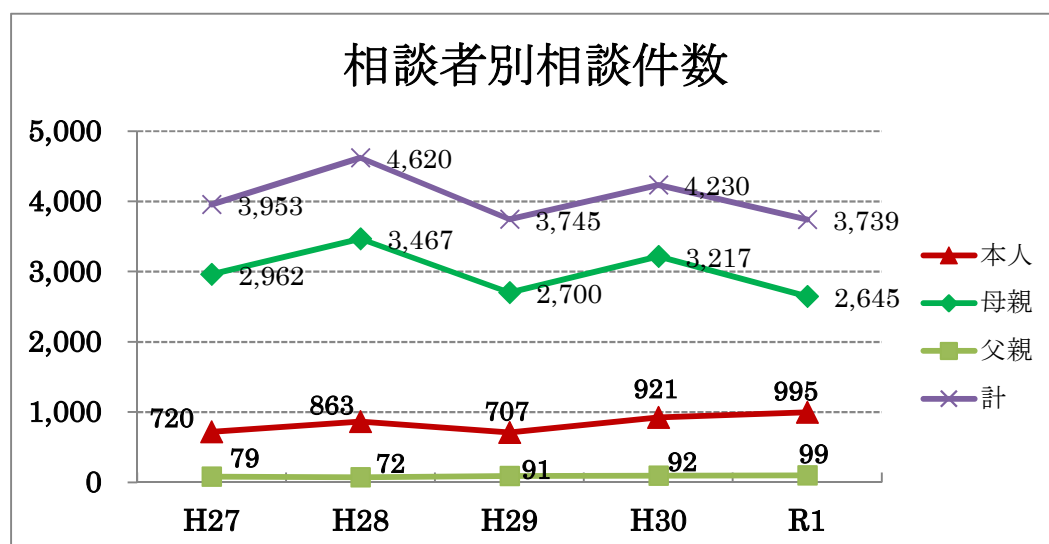
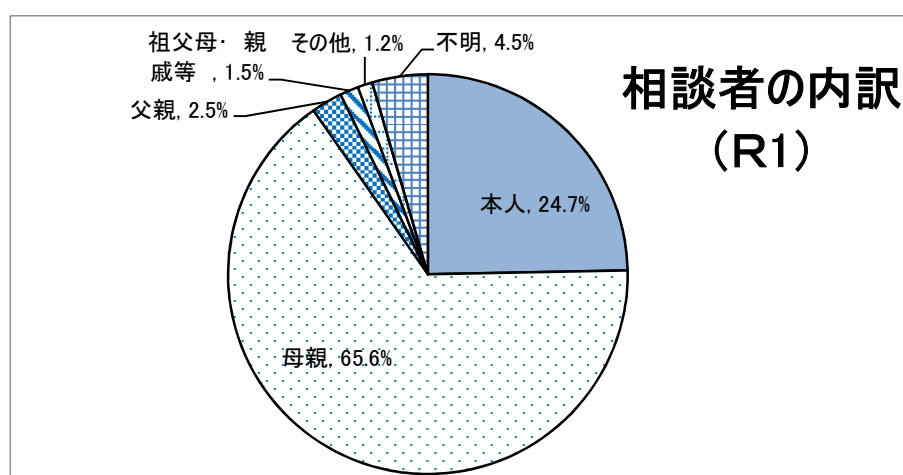
(1) 相談者（全体）の内訳

相談者別に見ると、「母親」からの相談が 2,645 件（65.6%）と最も多く、次いで、「本人」からの相談が 995 件（24.7%）で、「本人」と「母親」を合計すると、3,640 件と全体の 90.3%（H30 年度 92%）を占めています。なお、「父親」からは 99 件で 2.5%（H30 年度 2%）となっており、子育てについては、母親が中心で父親の関わりの少なさがうかがえます。

【相談者の内訳】

(件)

件数	本人	母親	父親	祖父母・親戚等	その他	不明	計
H27	720	2,962	79	67	51	74	3,953
H28	863	3,467	72	34	38	146	4,620
H29	707	2,700	91	49	31	167	3,745
H30	921	3,217	92	50	54	161	4,495
R1	995	2,645	99	60	49	182	4,030



(2) 相談者（本人）の内訳

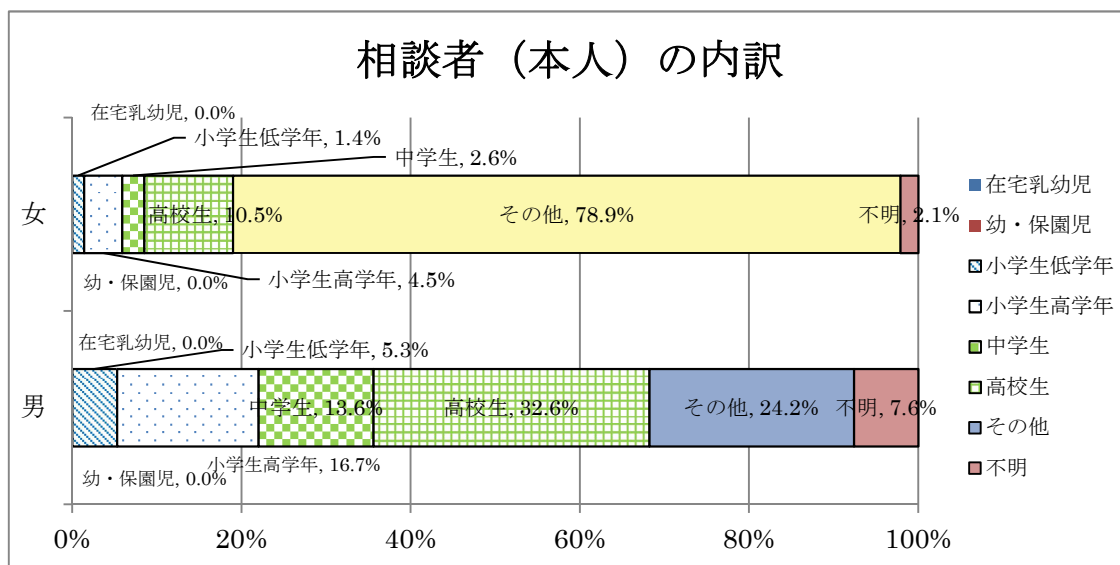
子ども・青少年「本人」からの相談件数は 995 件あり、そのうち男性からの相談は 132 件 (13.3%) 女性からの相談は 859 件 (86.3%) です。また、性別に見ると、男性では「高校生」で 43 件 (32.6%)、女性では専門・大学生が多数を占める「その他」で、678 件 (78.9%) が最も多くなっています。なお、「不明」が多い理由は、相談者が自由に心の奥を開示できるよう、相談者のペースを乱さないよう敢えて尋ねることを控える事があるためです。

【相談者（本人）の内訳】

(件)

年度\相談者	在宅乳幼児	幼・保育園児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
H30	0	1	27	85	40	126	576	66	921
R1	0	0	19	61	40	135	711	29	995
男	0	0	7	22	18	43	32	10	132
女	0	0	12	39	22	90	678	18	859
不明	0	0	0	0	0	2	1	1	4

(「その他」には、専門・大学生および在宅、就労青年を含む)



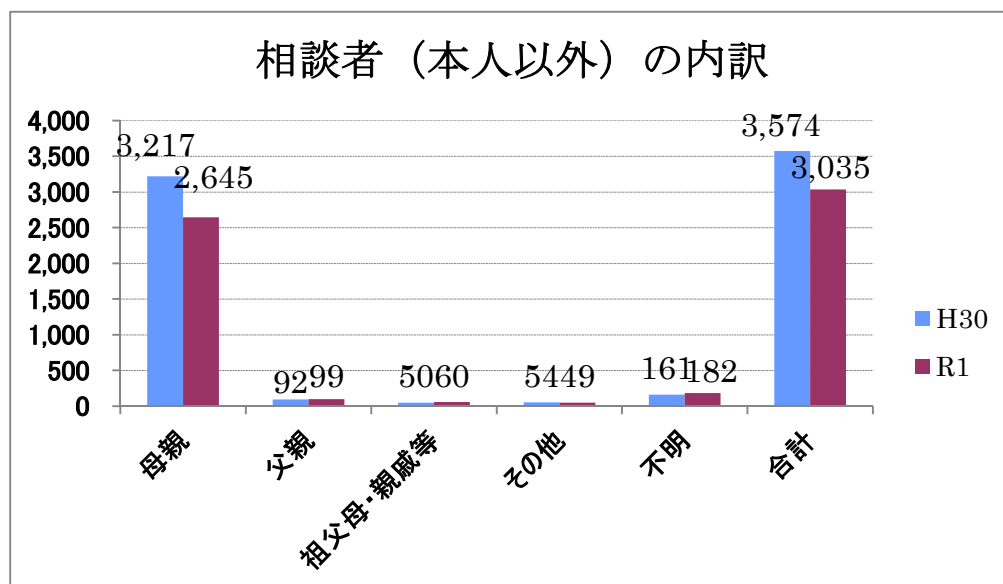
(3) 相談者（本人以外）の内訳

「本人以外」からの相談件数は3,035件あり、その内訳で最も多いのは「母親」からの相談で2,645件（87.1%）次いで多いのは「不明」で182件（約6%）となっています。家族や親戚以外の「その他」からの相談は49件（1.6%）ありました。

【相談者（本人以外）の内訳】

(件)

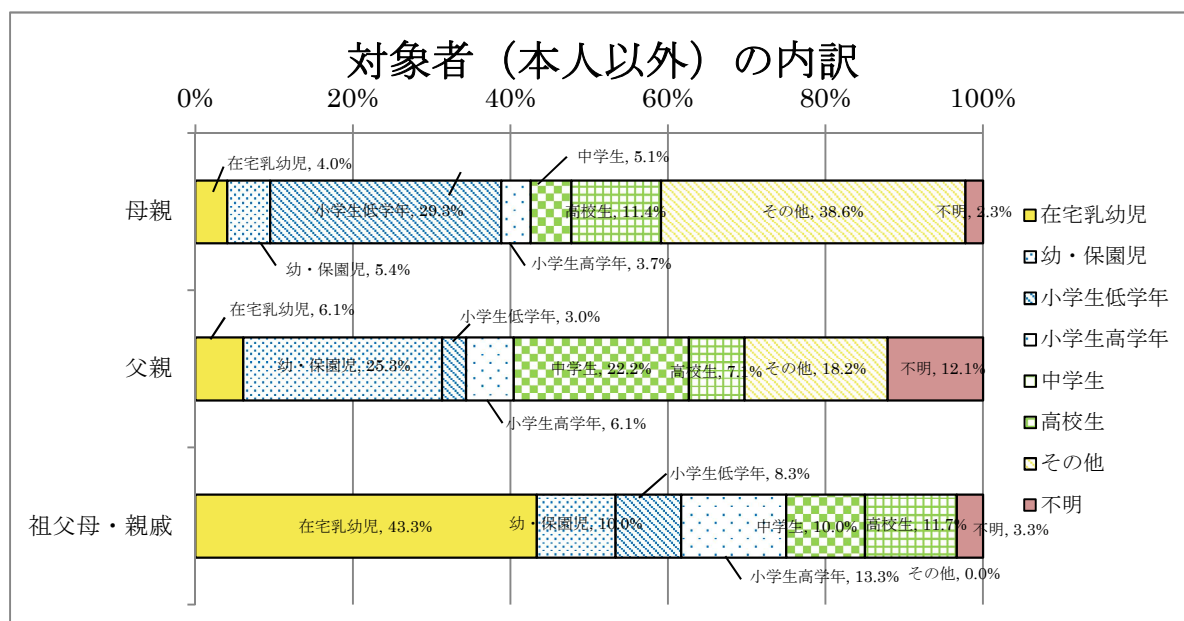
	母親	父親	祖父母・ 親戚等	その他	不明	合計
H30	3,217	92	50	54	161	3,574
R1	2,645	99	60	49	182	3,035



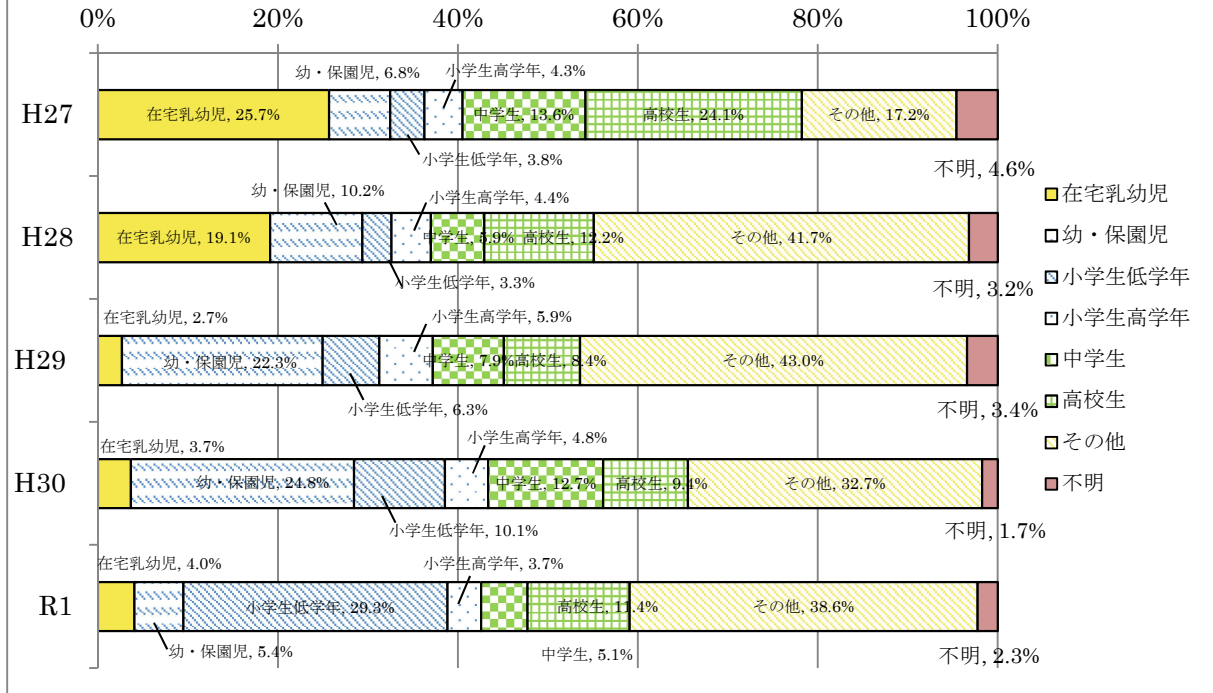
「母親」からの相談を相談対象者別（年代別）にみると「その他」が1,022件で全体の38.6%を占め最も多く、次に「小学生低学年」で、776件（29.3%）となっています。中高生に関する相談が多いのは、いじめ被害、進路問題や思春期の子どもへの関わりに悩んでかけてくる電話が多くなっているためです。

相談者 \ 相談対象者	在宅乳幼児	幼・保育園児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
H30	141	822	349	178	429	321	1,082	252	3,574
R1	140	177	792	115	169	320	1,042	280	3,035
母親	107	144	776	99	136	301	1,022	60	2,645
父親	6	25	3	6	22	7	18	12	99
祖父母・親戚等	26	6	5	8	6	7	0	2	60
その他	1	2	8	2	5	5	2	24	49
不明	0	0	0	0	0	0	0	182	182

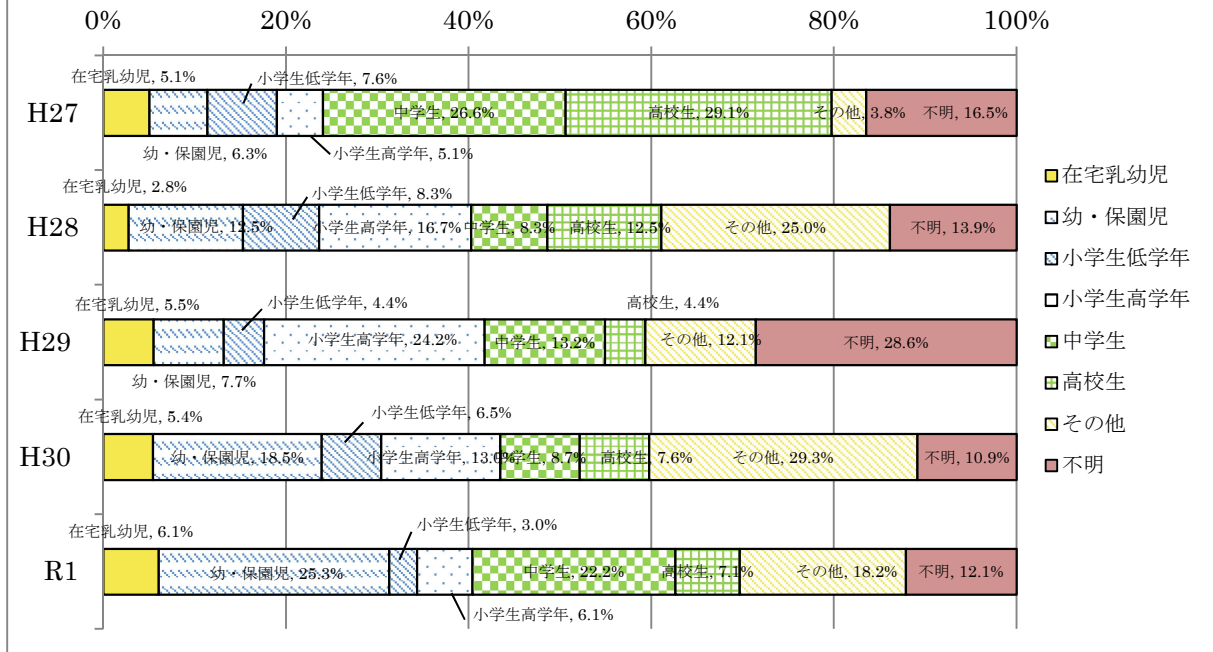
（「その他」には、専門・大学生および在宅、就労青年を含む）



母親の相談対象者別の内訳



父親の相談対象者別の内訳



7. 相談対象者の内訳

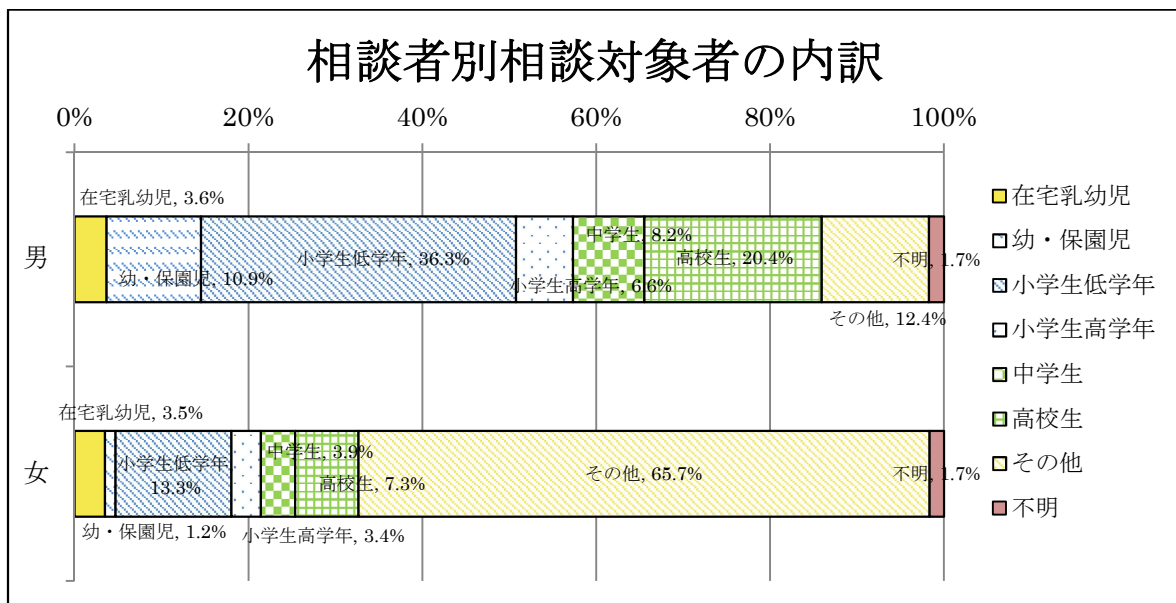
相談対象者を男女別で見ると、男性が1,343件(33.3%)、女性が2,408件(59.8%)となっています。相談対象者で最も多いのは、男性が「小学生低学年」、女性が「その他」となっており、男性で487件(36.3%)、女性で1,582件(65.7%)となっています。「不明」は相談者が、対象年齢、所属などを言わないことがあるためです。

【相談対象者の内訳（本人からの相談含む）】

(件)

相談対象者	在宅乳幼児	幼・保育園児	小学生低学年	小学生高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
H30	141	823	376	263	469	447	1,658	318	4,495
R1	140	177	811	176	209	455	1,753	309	4,030
男	49	146	487	88	110	274	166	23	1,343
女	84	29	321	82	95	175	1,582	40	2,408
不明	7	2	3	6	4	6	5	246	279

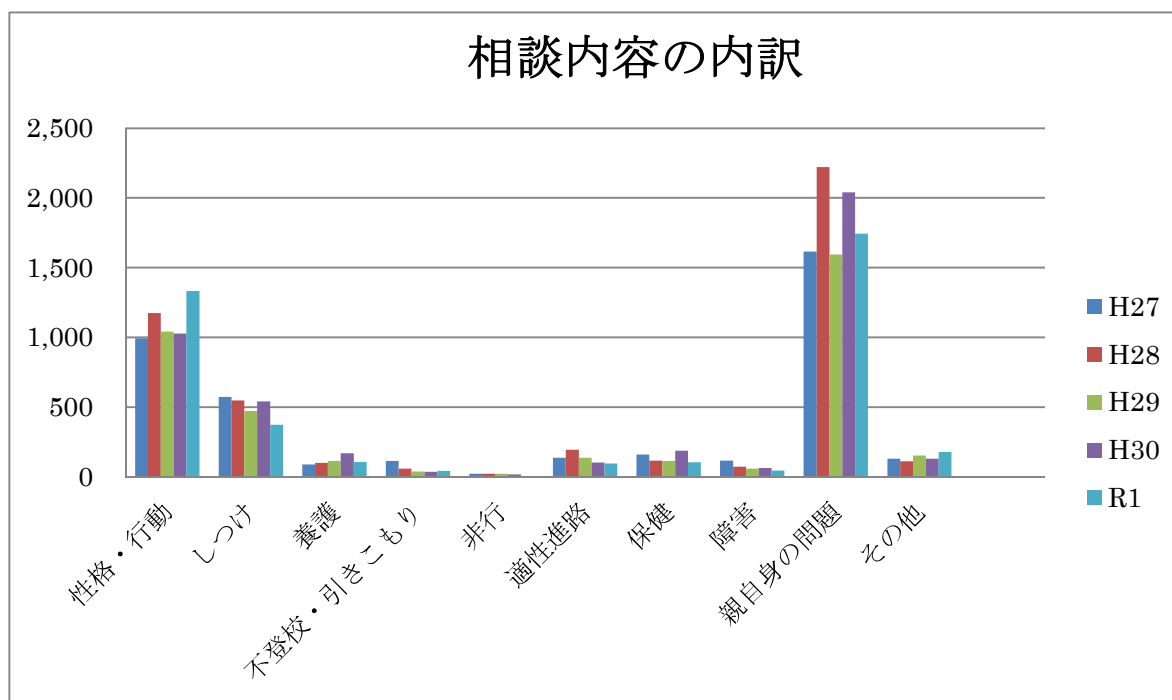
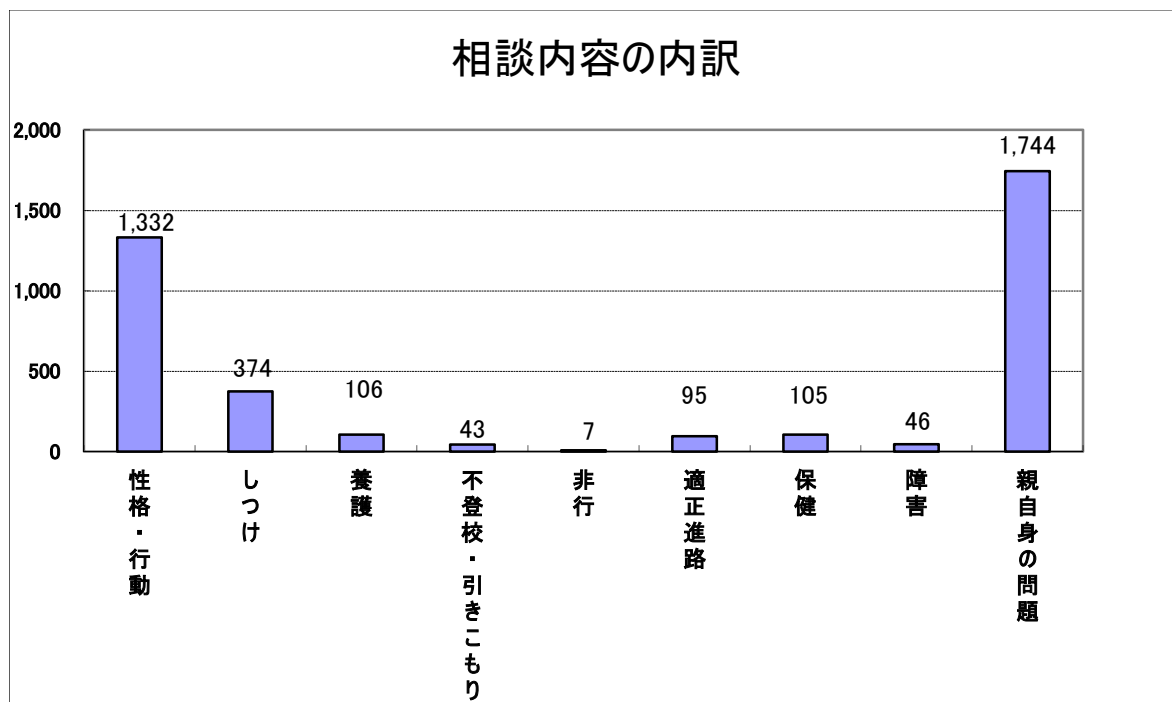
(その他には、専門・大学生および在宅、就労青年を含む)



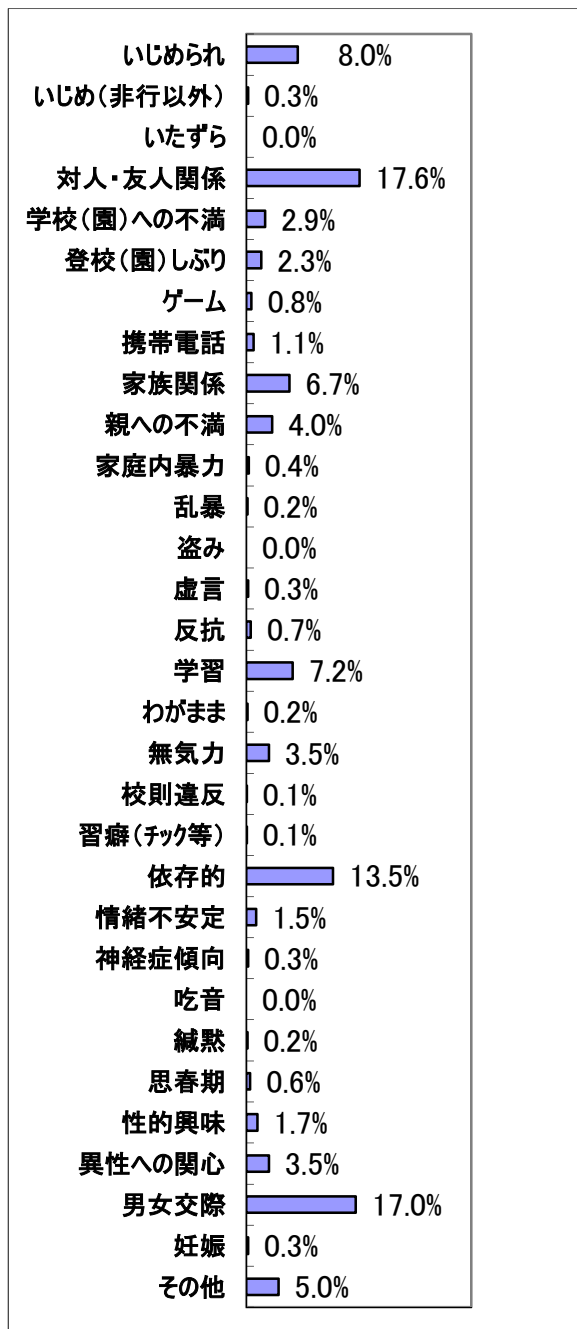
8. 相談内容

相談内容で最も多いのは「親自身の問題」に関する相談で、1,744件あり、全体の43.3%（H30年度45.4%）を占めています。次いで、「性格・行動」に関する相談で1,332件、全体の33.1%（H30年度26.8%）となっています。

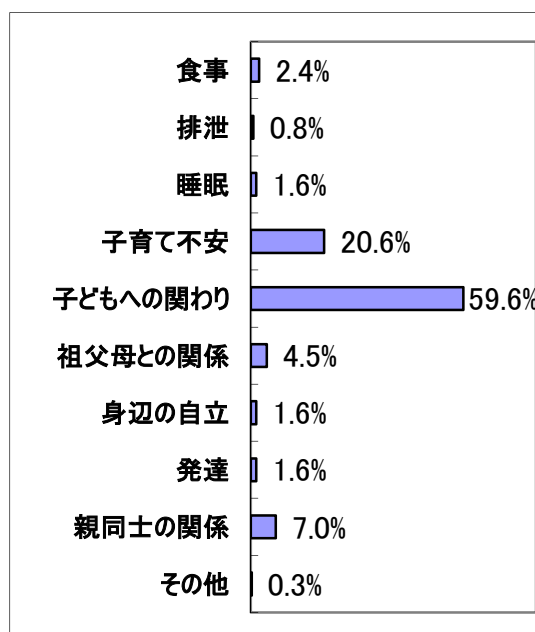
【相談内容の内訳】（相談件数4,030件）（無言電話を除く）



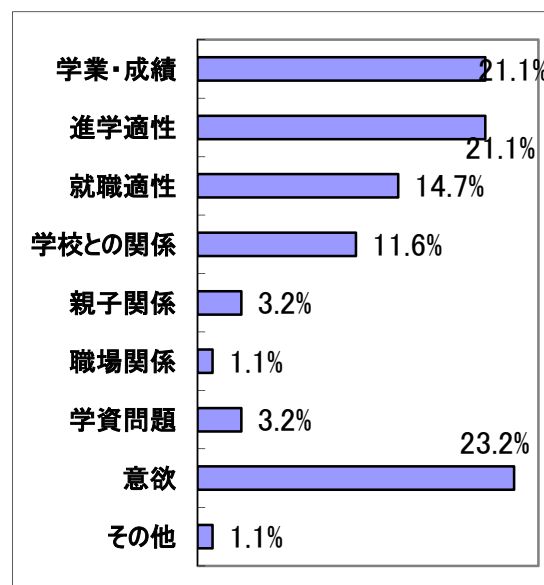
【性格・行動】



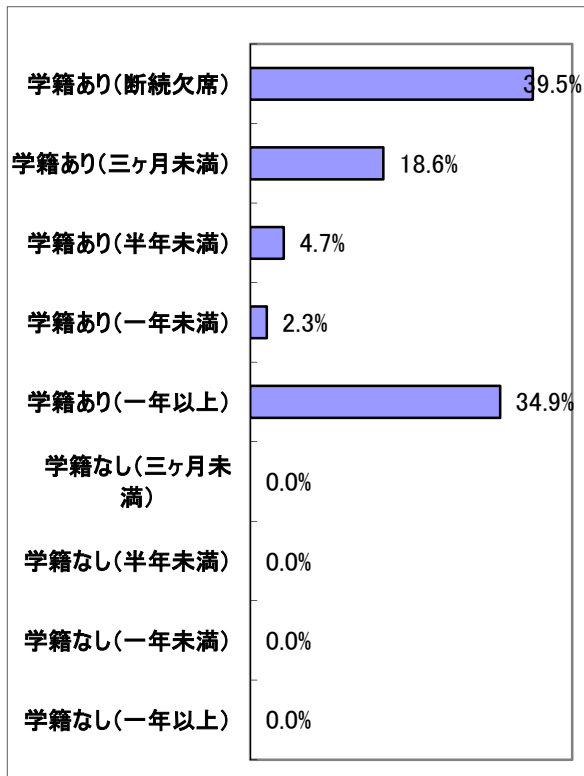
【しつけ】



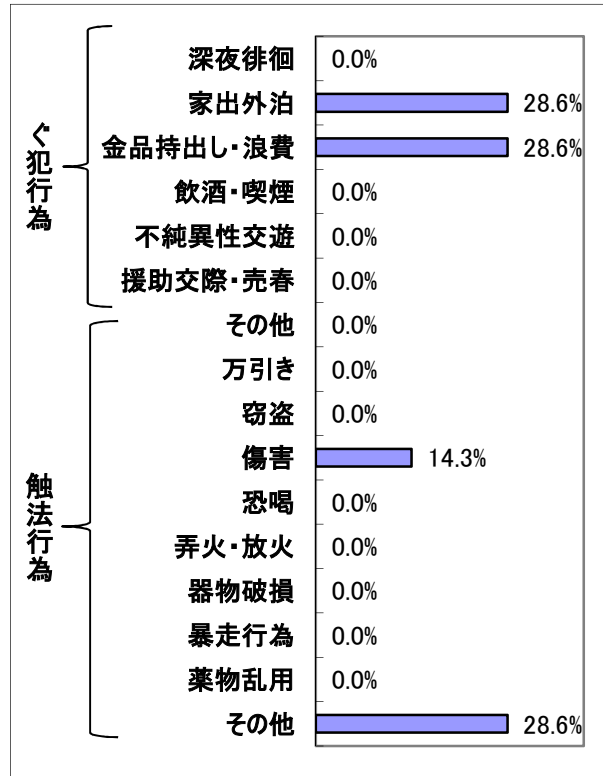
【適性・進路】



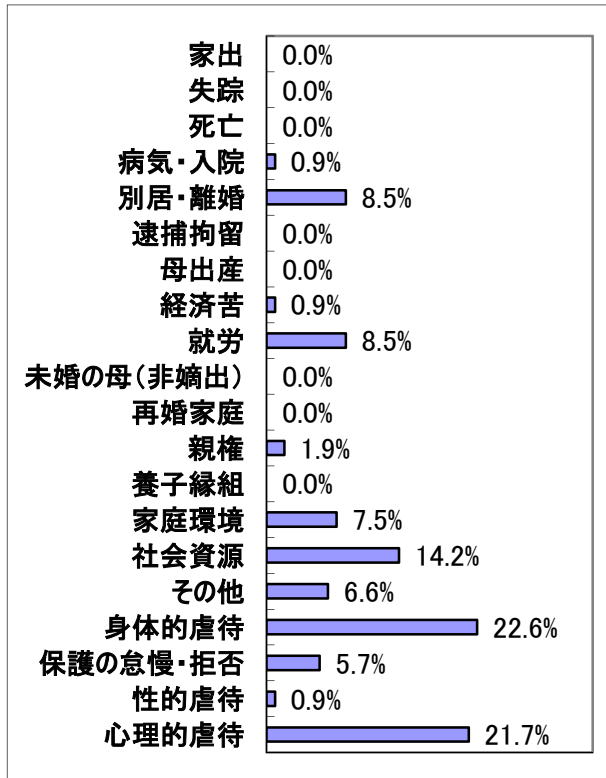
【不登校・ひきこもり】



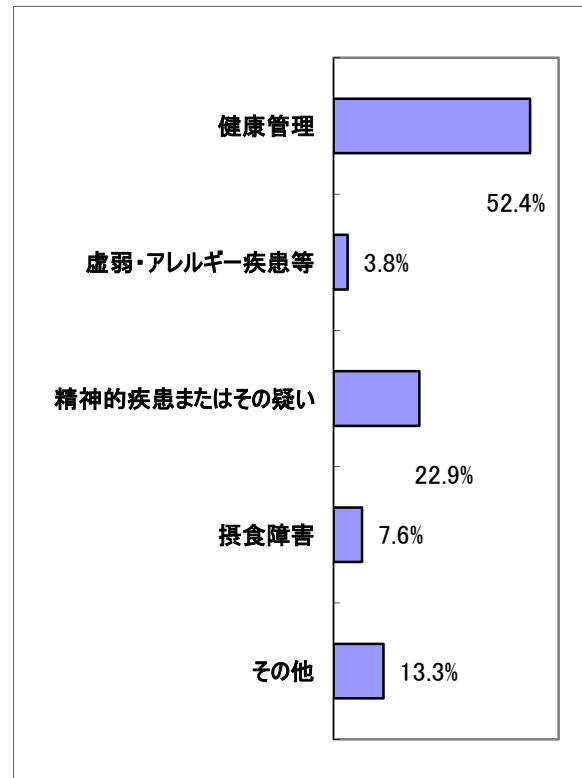
【非行】



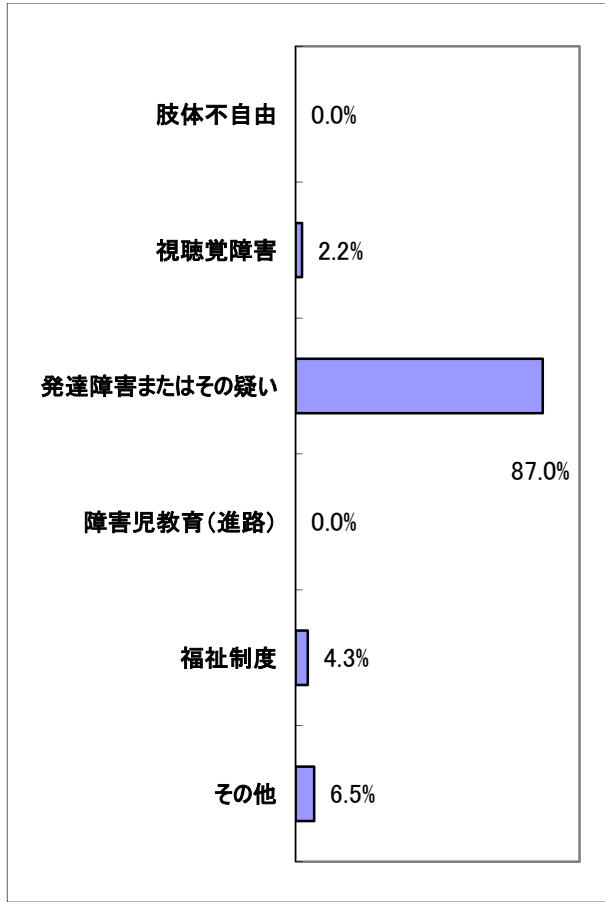
【家庭環境・養護】



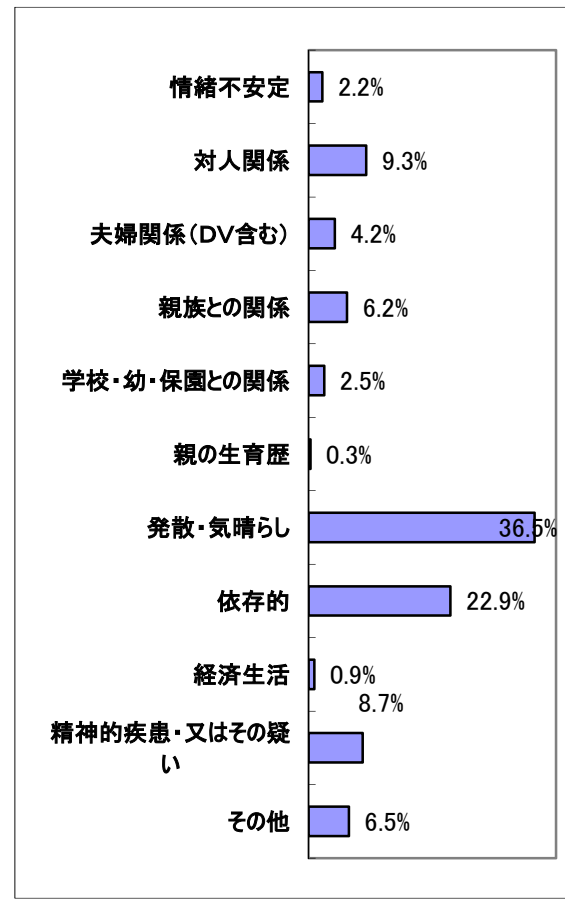
【保健】



【障害】



【親自身の問題】



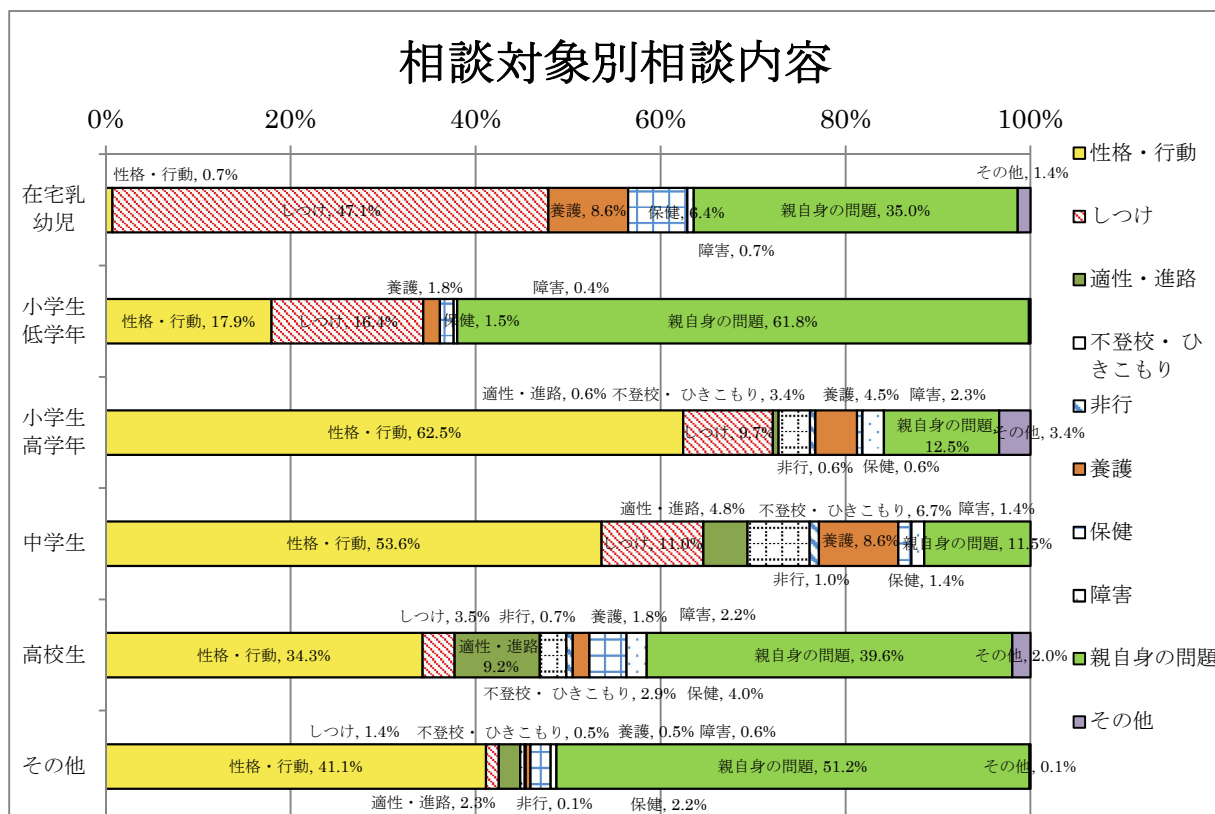
9. 相談対象者別（年代別）相談内容

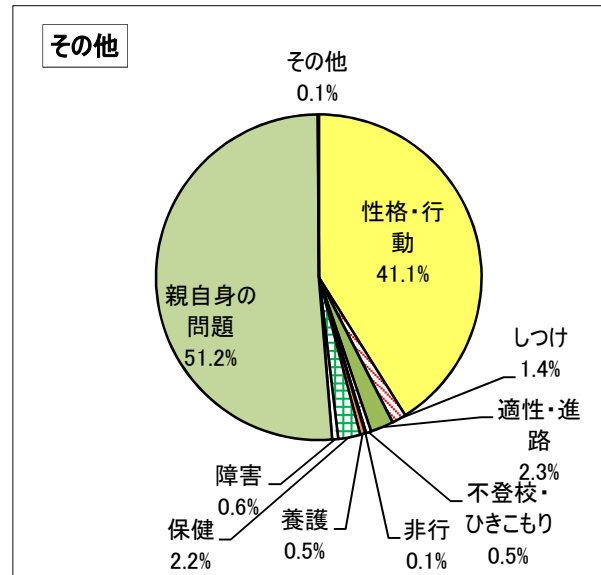
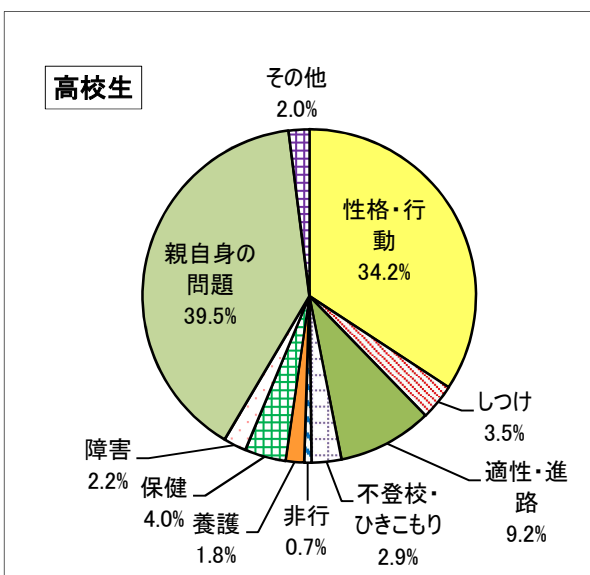
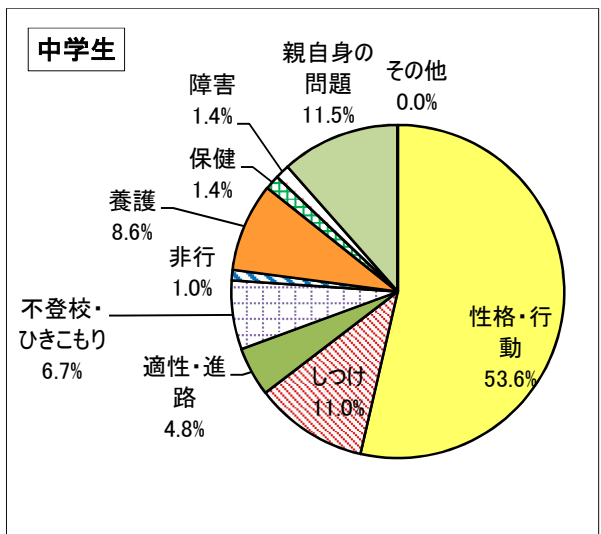
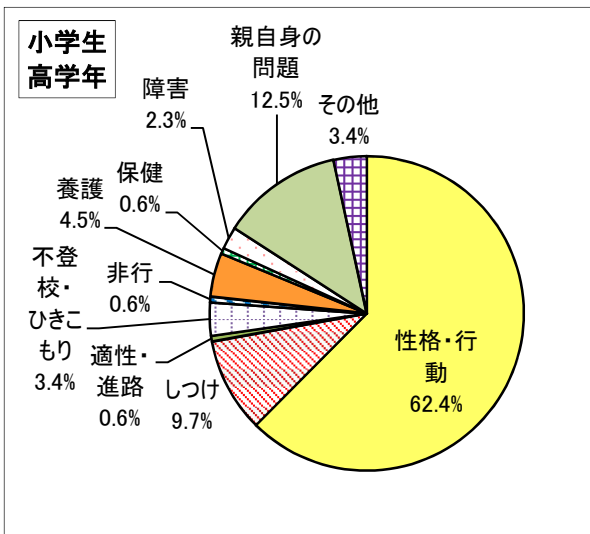
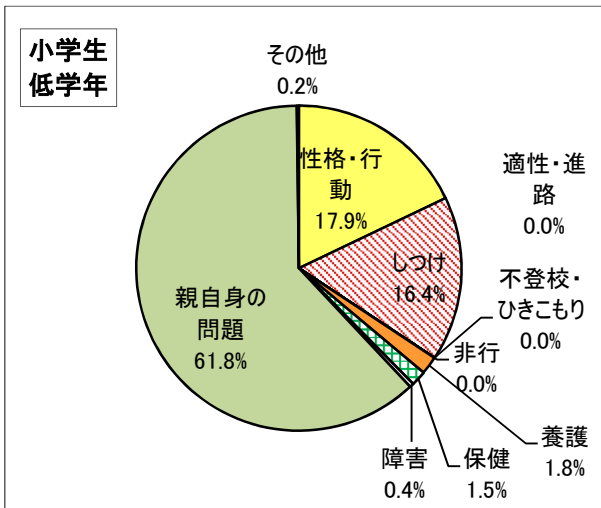
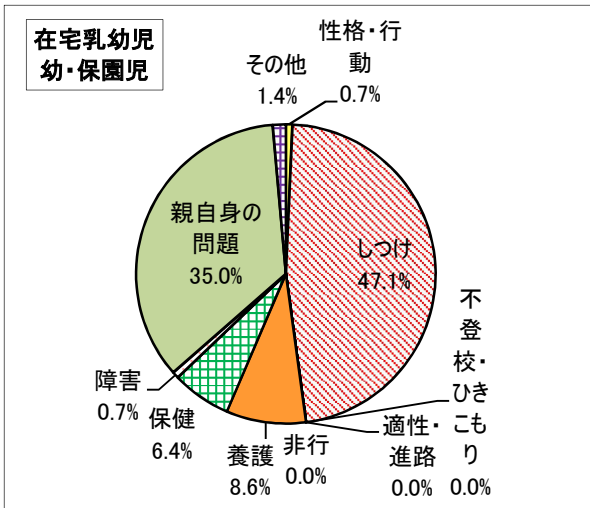
相談対象者別に相談内容を見ると、対象者が就学前では「しつけ」や「親自身の問題」に関する相談が多いのに対し、年代が高くなるに伴って「性格行動」に関する相談が多くなる傾向にあります。思春期を迎える年齢となり、家族関係、対人・友人関係で親・子ども共に悩み苦しんで葛藤している背景がうかがえます。また、今年度は大学生の男女交際や異性への関心の相談が多くありました。

【相談対象者別相談内容】

(件)

相談対象者 \ 内容	性格・行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他	計
在宅乳幼児	1	66	0	0	0	12	9	1	49	2	140
幼・保	20	89	0	0	0	17	4	7	40	0	177
小学生低学年	145	133	0	0	0	15	12	3	501	2	811
小学生高学年	110	17	1	6	1	8	1	4	22	6	176
中学生	112	23	10	14	2	18	3	3	24	0	209
高校生	156	16	42	13	3	8	18	10	180	9	455
その他	720	24	41	9	1	10	38	10	898	2	1,753
不明	68	6	1	1	0	18	20	8	30	157	309
計	1332	374	95	43	7	106	105	46	1744	178	4,030





10. 相談者別の相談内容

(1) 相談者別の相談内容

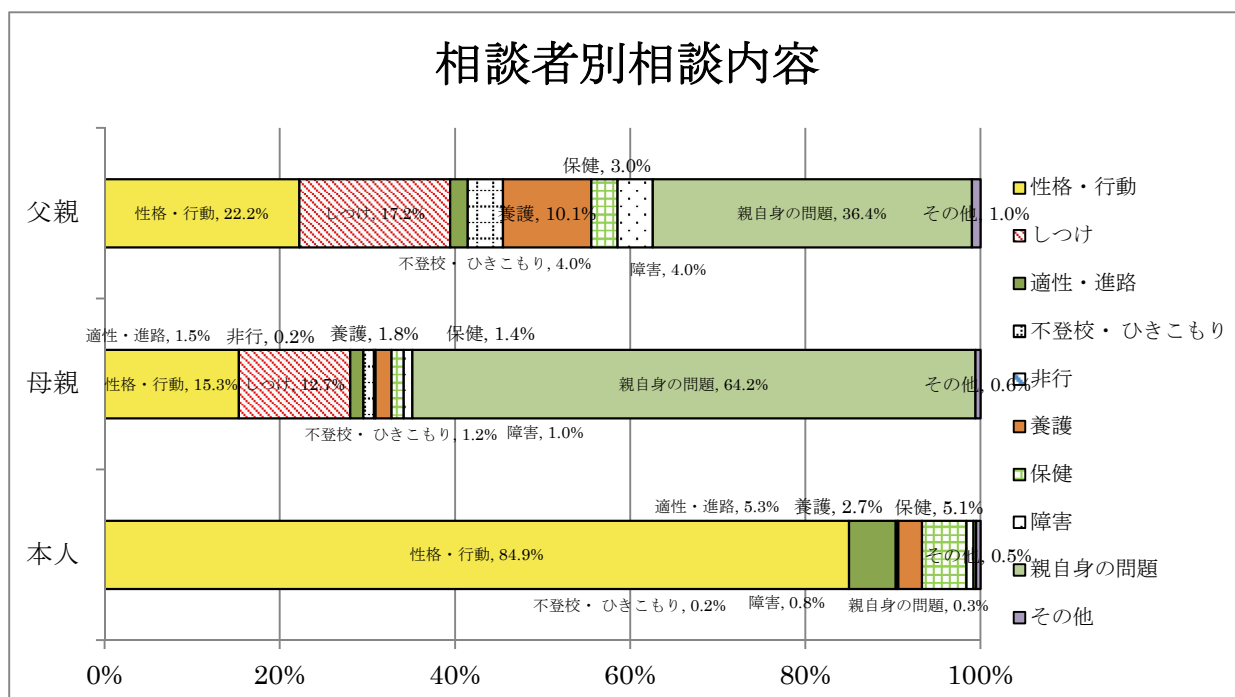
相談者別に相談内容を見ると、本人からの相談では「性格・行動」が845件で全体の84.9%を占め、次いで「適性・進路」が53件(5.3%)となっています。母親からの相談で最も多いのは「親自身の問題」で1,699件(64.2%)、次いで「性格・行動」が404件(15.3%)となっています。父親からの相談で最も多いのは「親自身の問題」で36件(36.4%)、次いで「性格・行動」が22件(22.2%)となっています。

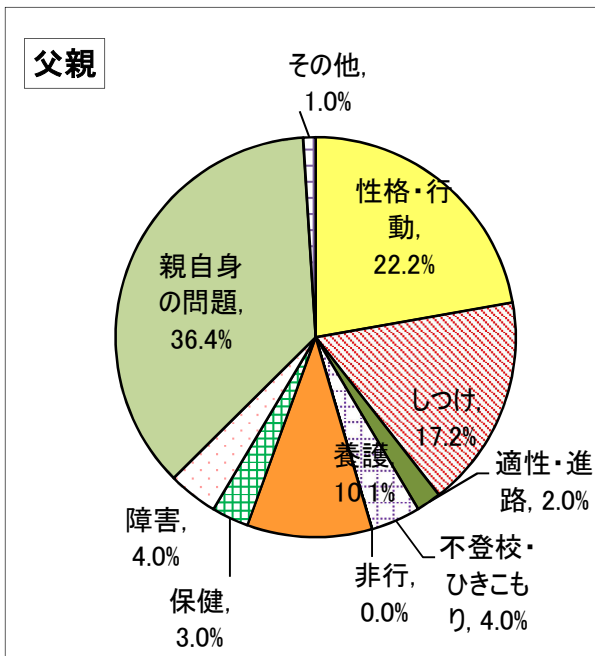
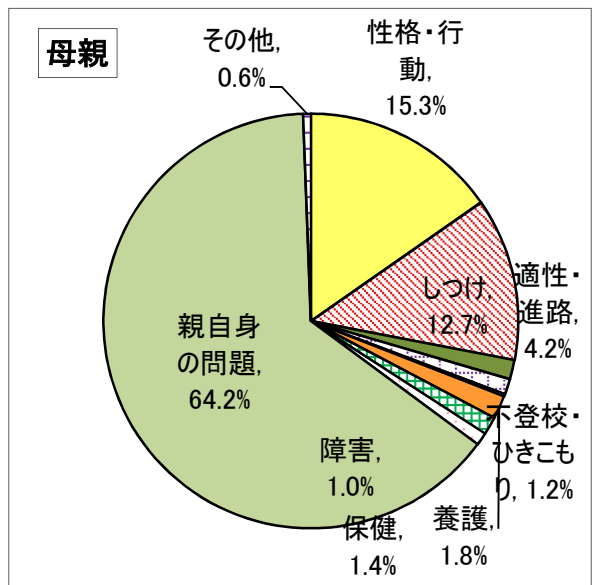
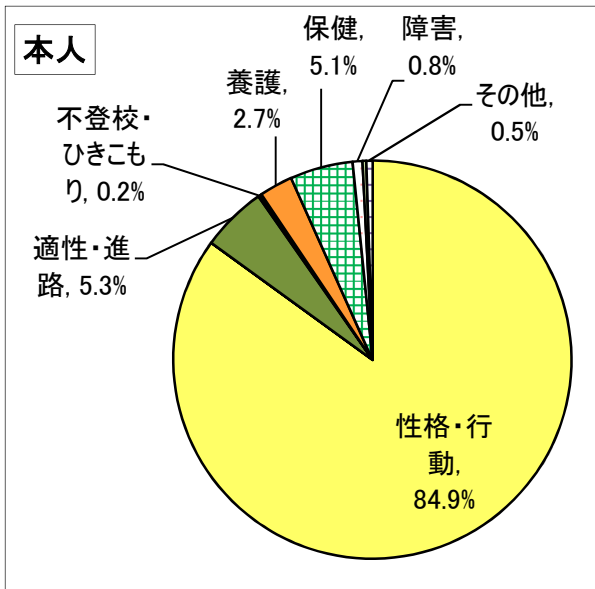
【相談者別（全体）の相談内容】

(件)

相談者 ＼ 内容	性格・ 行動	しつけ	適性・ 進路	不登校・ ひきこ もり	非行	養護	保健	障害	親自身 の問題	その 他	計
本人	845	0	53	2	1	27	51	8	3	5	995
母親	404	337	39	33	5	47	38	27	1699	16	2645
父親	22	17	2	4	0	10	3	4	36	1	99
祖父母 ・親戚等	14	18	1	3	1	9	3	2	5	4	60
家族以 外	13	2	0	1	0	13	1	0	1	18	49
不明	34	0	0	0	0	0	9	5	0	134	182
計	1332	374	95	43	7	106	105	46	1744	178	4030

(親自身の問題には、子どもにとっての祖父母・親戚自身の問題を含む)





(2) 本人相談の相談内容

子ども・青少年「本人」からの相談内容は、いずれの年齢層も「性格・行動」に関する悩みが最も多く「小学生高学年」では86.9%、「専門・大学生」では89.1%となっています。

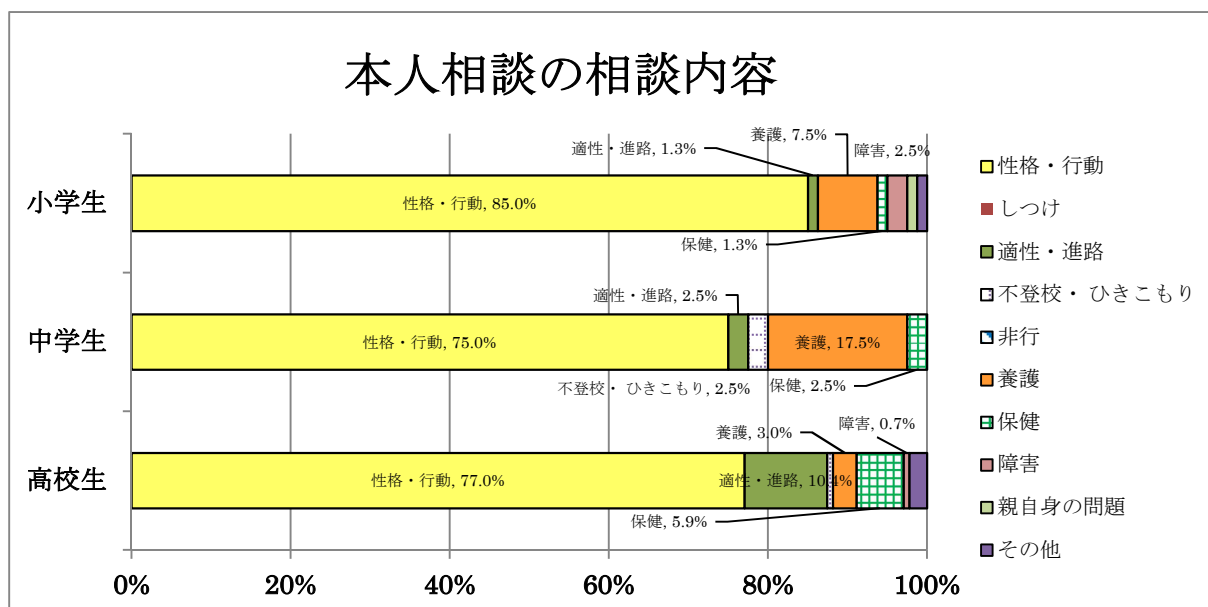
年齢が上がるに従い相談の内容は多様になり、「高校生」では「適性・進路」の相談割合も高くなっており、「専門・大学生」の相談では、男女交際、学業や就職適性に関する相談が多くあります。

【相談者別（本人）の相談内容】

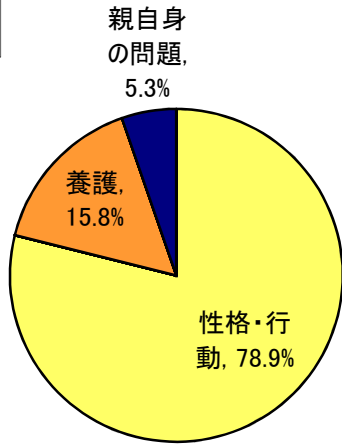
(件)

相談者\内容	性格・行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他	計
在宅乳幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼・保育園児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生低学年	15	0	0	0	0	3	0	0	1	0	19
小学生高学年	53	0	1	0	0	3	1	2	0	1	61
中学生	30	0	1	1	0	7	1	0	0	0	40
高校生	104	0	14	1	0	4	8	1	0	3	135
専門・大学生	599	0	33	0	0	7	31	2	0	0	672
在宅	22	0	1	0	1	1	0	2	0	1	28
就労	3	0	2	0	0	0	0	1	1	0	7
その他	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
不明	16	0	1	0	0	2	9	0	1	0	29
計	845	0	53	2	1	27	51	8	3	5	995

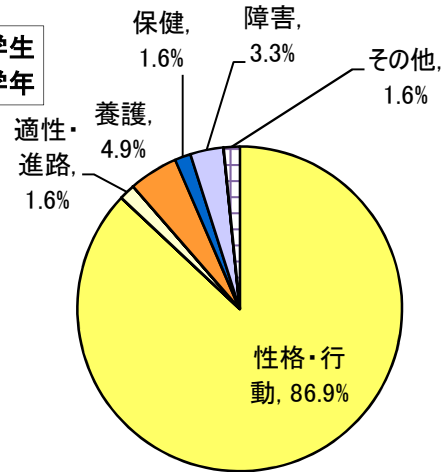
【相談者（本人）別相談内容】(921件)



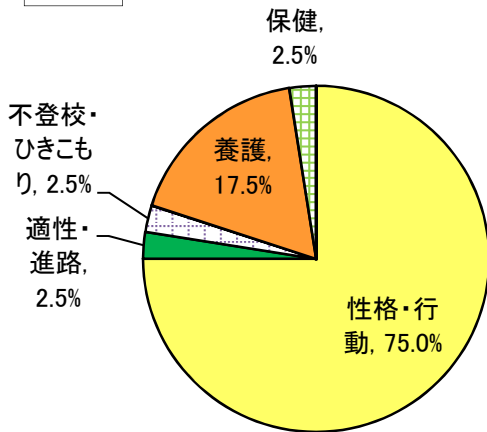
小学生
低学年



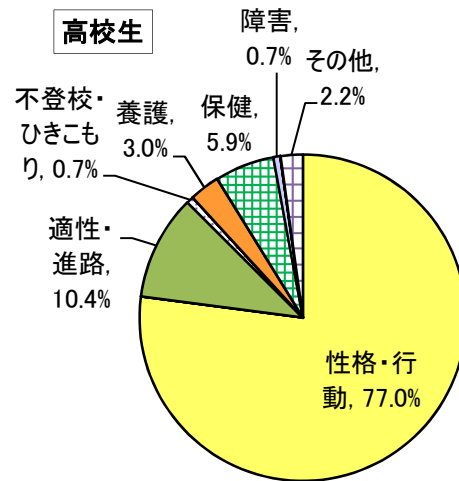
小学生
高学年



中学生



高校生



1 1. 虐待・いじめ相談

大きな社会問題となっている「児童虐待」や、「いじめ」に関する相談については、別途件数を把握しています。「児童虐待」に関する相談については、延べ54件の相談(実件数39ケース)があり、延べ件数、実件数ともに約半減しています。「いじめ」に関する相談については、延べ107件の相談(実件数67ケース)があり、延べ件数、実件数ともに減少しています。

これは、社会全体でいじめに対する意識が上がり、他機関においても、積極的にいじめ問題に対応する電話相談が行われるようになったためと考えられます。対象者別にみると「中学生高学年」が15件(27.8%)と最も多くなっています。いじめは「小学生高学年」が35件(32.7%)と最も多くなっています。

■児童虐待相談件数(再掲)

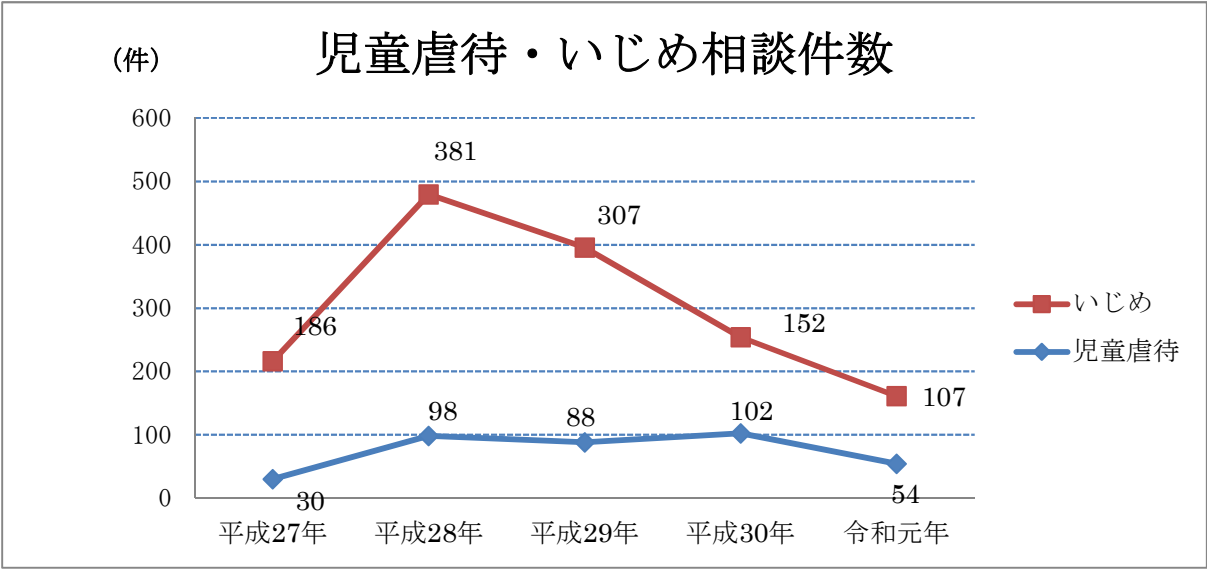
(件)

		在宅 乳幼児	幼・保 園児	小学生 低学年	小学生 高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
H30	延べ	7	18	14	26	5	17	3	12	102
R1	延べ	3	5	8	4	15	6	8	5	54
男	延べ	2	0	3	2	6	0	0	0	13
女	延べ	1	5	5	2	9	6	8	3	39
不明	延べ	0	0	0	0	0	0	0	2	2

■いじめ相談件数(再掲)

(件)

		在宅 乳幼児	幼・保 園児	小学生 低学年	小学生 高学年	中学生	高校生	その他	不明	計
H30	延べ	0	2	26	57	28	23	2	14	152
R1	延べ	0	3	16	35	24	18	3	8	107
男	延べ	0	3	7	14	19	13	0	1	57
女	延べ	0	0	9	21	5	5	2	1	43
不明	延べ	0	0	0	0	0	0	1	6	7



1 2. 他の相談機関への紹介および連絡

相談者に紹介した専門機関数は延べ 283 機関(198 件)、相談件数全体の約 4.9%を占めています。主な紹介先は、市町の家庭児童相談室、子ども・若者総合相談窓口、県精神保健福祉センターなどです。また、センターが直接連絡した専門機関は述べ 46 機関(41 件)ありました。

■他の機関への紹介、連絡件数 (件)

	紹介機関数	連絡機関数
平成 30 年度	389	34
令和元年度	283	46

1 3. 相談のまとめ

- 相談者の内訳をみると、前年度に引き続き、母親からの相談が最も多くなっています。

- 相談状況を月別にみると5月が432件と最も多く、次いで6月の388件となっており、新年度の新しい生活に対する様々な不安や悩みが顕在化してくるためと考えられます。

- 相談開始時刻別件数をみると、「午後5時から午後6時まで」、「午前9時から午前10時まで」の順に多く、それぞれ599件、507件となっています。また、「本人」からの電話は、「午後5時から午後6時まで」が169件と最も多く、次いで、「午後6時から午後7時まで」が127件となっています。

- 本人以外からの相談で最も多いのは、「母親」からの相談で、2,645件となっており、相談対象者別（年代別）にみると「その他」が1,022件で全体の38.6%を占め最も多く、次に「小学生低学年」で、776件（29.3%）となっています。中高生に関する相談では、いじめ被害、進路問題や思春期の子どもへの関わりに悩んでかけてくる電話が多くなっています。

- 相談内容の内訳をみると、前年度に引き続き、親自身の問題がもっとも多くなっています。これは、相談者が一度の相談では、気持ちが晴れず、頻繁に相談されることがあったためと考えられます。

參考資料

子ども・子育て応援センター「こころんだいやる」
他機関紹介（平成31年4月～令和2年3月）

機関名	計	相談種別									
		性格行動	しつけ	適性・進路	ひきこもり・不登校	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
教育・子育て											
中央子ども家庭相談センター	6	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0
〃 (女性相談)	6	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0
彦根子ども家庭相談センター	5	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0
〃 (女性相談)	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
大津・高島子ども家庭相談センター	4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
虐待ホットライン	10	0	1	0	0	1	8	0	0	0	0
県 総務部総務課	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 教育委員会	6	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0
県 心の教育相談センター	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
県 発達障害者支援センター	8	2	0	1	0	0	1	0	2	2	0
県 子ども・青少年局	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
いじめで悩む子ども電話相談	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市役所（福祉関連課）	10	3	1	1	0	0	0	1	0	4	0
市町 家庭児童相談室	36	8	11	0	2	0	8	0	2	5	0
市 子育て支援センター	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
市 教育委員会	5	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0
市町 教育相談センター等（適応指導教室）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子育て・女性健康支援センター（助産師会）	9	4	2	0	0	0	0	1	0	2	0
24時間いじめ相談ダイヤル	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
おおつっこ ほっとダイヤル	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
県臨床心理士会；こころのほっと相談会	13	4	3	1	1	0	0	0	0	3	1
市町 発達支援室・発達支援センター	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
市 教育研究所	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 ひとり親サポートセンター	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
市町 保健センター	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
よりそいホットライン	4	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0

機関名	計	相 談 種 別									
		性格行動	しつけ	適性・進路	ひきこもり・不登校	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
犯罪被害防止等											
少年サポートセンター（大津・米原）	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
110番	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
警察署	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
男女共同参画											
女性の人権ホットライン	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
滋賀県 男女共同参画センター（Gネット滋賀）	3	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
保健・健康づくり											
県 自殺対策推進センター	9	3	1	0	0	0	0	2	0	3	0
県 医療安全相談室	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
精神保健福祉センター	28	10	5	2	3	0	1	2	0	5	0
精神医療センター	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病相談支援センター	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
こころの電話相談	9	3	0	0	0	0	1	0	0	4	1
県 保健所	13	3	6	1	0	0	2	1	0	0	0
精神科救急医療相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
滋賀いのちの電話	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
小児の救急医療に関する電話相談（#8000）	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
こころの耳電話相談	10	1	3	0	0	0	1	0	0	5	0
子ども・若者総合相談窓口	16	7	3	0	3	0	0	2	0	1	0
人権・法律											
大津地方法務局 人権相談所（人権援護課）	7	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県人権センター（人権相談室）	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども人権110番	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県警 県民の声110番	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相 談 種 別											
機関名	計	性格行動	しつけ	適性・進路	ひきこもり・不登校	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
消費生活											
労働・就労											
地域若者サポートステーション	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ヤングジョブセンター	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他											
合計	283	107	48	12	11	2	35	15	4	44	5

	計	性格行動	しつけ	適性・進路	不登校・ひきこもり	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
4月	23	7	4	2	1	0	1	3	0	5	0
5月	37	10	5	3	0	0	10	1	0	8	0
6月	31	11	6	1	1	0	4	2	0	6	0
7月	23	2	8	2	2	0	5	1	0	3	0
8月	20	6	6	0	0	2	3	0	0	2	1
9月	11	4	1	1	0	0	0	2	1	1	1
10月	36	12	10	0	6	0	2	1	1	3	1
11月	27	17	2	0	0	0	5	0	0	3	0
12月	10	2	1	0	0	0	0	4	2	0	1
1月	18	7	0	2	0	0	3	0	0	5	1
2月	26	19	1	1	0	0	0	0	0	5	0
3月	21	10	4	0	1	0	2	1	0	3	0
計	283	107	48	12	11	2	35	15	4	44	5

子ども・子育て応援センター「こころんだいやる」
 直接連絡した機関（平成31年4月～令和2年3月）

	相談種別										
	計	性格行動	しつけ	適性・進路	ひきこもり・不登校・	非行	養護	保健	障害	親自身の問題	その他
中央子ども家庭相談センター	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
彦根子ども家庭相談センター	6	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0
大津・高島子ども家庭相談センター	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
虐待ホットライン	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
大津市子ども家庭相談室	3	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
草津市家庭児童相談室	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
長浜市家庭児童相談室	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
守山市こども家庭相談係	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
近江八幡市子ども家庭相談室	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
栗東市家庭児童相談室	4	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
米原市子ども家庭相談室	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
湖南市家庭児童相談室	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高島市カンガルー教室	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	6	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0
中学校	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
高等学校	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	12	9	0	0	0	20	1	1	3	0

相談件数・推移

(無言・いたずら除く)

	少年アドバ イスルーム (教育委員 会生涯学習 課青少年 室)	あゆっ子電 話相談 (教育委員 会生涯学習 課)	いじめホッ トライン滋 賀 (教育委員 会学校教育 課)	進路変更電 話相談 (教育委員 会学校教育 課)	子どもと家 庭の110番 (健康福祉 部児童家庭 課)	ヤングテレ フォン滋賀 (警察本部 少年課)	計
平成11年 度	837	1,002	70	15	1,419	375	3,718
平成12年 度	1,173	1,187	62	31	1,198	457	4,108
平成13年 度(～ 11/19)	780	744	30	10	667	230	2,461
	青少年・子ども電話総合相談室に統合						
平成13年 度(11/20 ～)	1,613						
平成14年 度	5,556						
平成15年 度	7,177						
平成16年 度	6,886						
平成17年 度	8,072						
	子ども・子育て応援センターに改組						
平成18年 度	(電話相談) 6,001						
平成19年 度	(電話相談) 4,186						
平成20年 度	(電話相談) 2,963						

平成 21 年 度	(電話相談) 2,539
平成 22 年 度	(電話相談) 2,567
平成 23 年 度	(電話相談) 2,540
平成 24 年 度	(電話相談) 2,777
平成 25 年 度	(電話相談) 3,004
平成 26 年 度	(電話相談) 3,414
平成 27 年 度	(電話相談) 3,953
平成 28 年 度	(電話相談) 4,620
平成 29 年 度	(電話相談) 3,745
平成 30 年 度	(電話相談) 4,495
令和元年 度	(電話相談) 4,030

令和２年度 滋賀県子ども・子育て応援センター業務概要

発行 令和 ２年 １２月

滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局

〒520-8577 大津市京町四丁目１番１号 新館２階

TEL 077-528-3551

FAX 077-528-4854

滋賀県子ども・子育て応援センター

〒520-8577 大津市京町四丁目１番１号 東館３階

TEL 077-528-3563

FAX 077-528-4855